

自分の子しか見えていない。
生徒と同様で自己中心的な親が多い。
常識的な判断をしてもらえない（被害者宅へ謝罪に行く等）。
大人になっていない保護者との対応。
生徒と同じで、自己中心の心の規範意識を持つ人が増えている。
学校で色々と指導されるなら、行くなどといった対応がふえてきている。
子どもの言い分、言い訳をゴり押しすることによって、大人（親）の役割を果たそうとしている。社会性が乏しい。
無感心。
公の価値基準で、わが子の言動を計れない。保護者の大人としての未熟さ。
自分の子どもが集団生活で勝手にしていることを通そうとする。
生徒の言い分をうのみにする。
子どもの問題行動に対して家庭での対応が期待できない。
協力が得られず、理解不足。
生徒と同じレベルで学校に向ってくることが多い。
子供に対して「悪いことは悪い」としかれる親がへっている。すぐに学校の責任を追求することが多い。
子どもへの関心が低く子どもをそだてていこうとする意識が低い。
・生徒のことを信じて教師に協力せずいっしょに攻撃してくる。・指導に非協力的で逃げてしまう。
我が子しか見えず、大人になっていない。
基準があまい。責任を他に転嫁する。
2回目に同じことを起してしまうと投げて子どもへの対応がなくなり最終は乗り越えられてしまっている。しかし、関係機関への相談等をきらい、指導しづらい。
自分の考え、価値感を押し通す。ネグレクト、過保護
保護者の保護の能力の低下。
無関心と逆に指導に対する批判の両極端のケースが多く、同一の指導がしにくくなっている。
連絡がつかない家庭が増えている。（電話に出ない・いつ帰るかわからない）
連絡がとれず、指導への協力がえにくい。
学校側のことと理解してもらえない。
学校や社会が集団生活の場であるという認識を理解してもらえない場合がある。
校内での様子がなかなか理解してもらえない。
全てを学校にゆだねるか、原因を学校にする。
生活におわれて子育ての二の次になっている。（愛情をかけずに金だけかけている）
保護者の協力が得にくい。
母子分離ができていないことが多く協力、協力が得られないことが多い。
学校を軽視（ルールや教師の指導）
保護者として責任感を疑う言動。
相手の立場に立って考えることができない。
権利が先になり社会における責任がおろそかで子供に指導しにコミュニケーションがとりにくい。
仕事に追われて忙しく、学校と連絡がとれない。（また、とる気も感じられない）。
理解や協力が得られないし、親自身も未熟である場合。
協力的な発言はあるが行動が一致しない。
我が子をかばい、すぐ誰かのせい責任の所在をたに向ける。
価値感の多様化。自分の基準でしか考えない。
常識が通じない親が増えている。
保護者としての自覚がない。生徒の面倒を見ていないのにいいだけを言う！
自由放任。責任を放棄すること。協力的でない。
共通の理解が得られない。（教育感の違い）
幼児期に必要であろうはずのしつけができない保護者が増えており問題の多くはそこから生まれている。
「親」「大人」でない保護者が多いので、こちらの真意がなかなか伝わりません。

子供の問題行動をかるく思い、学校の対処に対しての文句を言ってくる親が多くなった。
多くは子どもの非行はわかっているがどのように子どもに対応したらよいかわからず学校と対立することが多くあり保護者の理解と協力を得るのに時間がかかる。
指導に意欲的でない。
こどもの養育に対して責任を持とうとしない姿勢。放任に近い形で、子どもの行動に規範意識を向上させようとする保護者がいる。
学校まかせの状況、特に母親まかせの傾向あり。
保護者が子供との関係をしっかり持てないでいる点。
養育放棄的な傾向の保護者が増えつつある。
常識がなさすぎる。
特になし（7件）
無回答29件

①警察に期待すること

非行から立ち直る強い指導。
相談に応じてくれた。
学校との連携。
犯罪をおかす生徒に対する厳しい処遇。
パトロール活動の充実。生徒の活動エリアにいつも警察官の姿があると抑止力になる。ほとんど行政マンでやる気が感じられない。
パトロール。
もっと責任をもって取り組んでもらいたい。話を聞くだけなら誰でもできる。どれだけその子にかかわれるかどうか。
非行への歯止め。
校区内の巡回活動を多くしてほしい。
法的措置。
取り締りの強化。抑止力。
学校ではできない厳しい対応。
特にない。
とりしまりを強化して欲しい。厳しい処罰をして欲しい。
・学校が手におえない時。・ある意味抑止力。
強い対処（応）。
処置への速い対応。
未成年者の喫煙、飲酒、深夜徘徊の取り締まり強化。
事件の未然防止
温もりは学校で厳しさは警察で。
型どおりの手続をして、おわりのケースが多い（器物破損。万引き等・・・）
法による強制指導
法に触れる行為については、厳しく対応してもらいたい。
教育のバックアップを優先。
情報公開、バックアップ
問題行動に対しての抑止制度の強化。
地域内のパトロール
学校外での行動について情報交換及び連携、卒業後の継続的観察など。
違反行為に対してさらに厳しくとりしまってもらいたい。
非行防止パト。生活安全課署員の増員。
法的な対応で子どもに指導してもらうこと。

早期送致。補導時の親への対応。
もっと国家権力で何とかならないものか？学校で指導が入らない生徒とは関係機関に頼らざるえないがその関係機関も何か起こさないと動いてくれない。
微罪であっても、指導、注意をしていただきたい。
いろいろとお世話になっています。
社会のルールを厳しく指導。
迅速な対応。
何か起こってからしか対応してもらえない。未然にふせぐという活動をしてほしい。少年に甘い。
犯罪行為をさせない。
触法行為等、犯罪に関わる指導と事後の相談。
法に触れる行為という自覚。
一般社会の規範を厳然と示してほしい。
非行の未然防止。
こちらにも責任はあろうが連携を細かく。
生徒の更生・意識改革。
綿密な情報交換。
犯罪、不良行為への一定厳しい指導。
触法行為に対する指導、児相への通告。
招致補導や相談活動も多くとり入れてがんばってもらっている。（現状の維持）
連絡制度を発足しており、以前より風通しがよくなった。
素早い対応。調査に時間がかかりすぎる。
・触法行為に対してのきっちりとした（素早い）対応。・学校内では対処しきれない不良行為等への抑止力。
非行防止に対する学校でのHRとの連携（万引き、タバコ、薬物）など
中・高生専門の分室を設置してほしい。
社会の厳しさを子供たちに伝えてやって欲しい。
青少年に社会のルール法律等を守らないことへの厳しい処置、非行予防活動等（パトロール等）
子どもたちは非行問題をおこしても「これぐらいいいやん」とか「ばれないようにうまくやらなきゃ」というように罪の意識に欠けるので、社会規律のきびしさをしっかり教えていただきたい。
現場の教師全体への直接的な問題行動などの説明や学習会・・・現場の教師が問題を抱えてしまいまた危機意識が弱く対応力が低下している。方向感に乏しい。
非行初期段階での補導・指導。
パトロール等不審者等に対して対策、善悪に対して法律の立場からきびしい問題をかかえている生徒へのきびしい指導。
警察の言われることは、はっきりしている。そううまくいかない学校の立場（届けを出すこと）を理解して支援してほしい。
問題行動の連絡。
未然防止のための啓発。
街頭パトロールの充実、対応の迅速さ。
通報したらずぐにかけつけてほしい。被害にあった生徒の話だけで動かずに、学校と相談してほしい。
法的な処置の厳しさ。裁判所や家裁・保釈観察などの処置。
教師との情報交換内容の守秘。事件が起こる前等の対応。
社会規範の厳しさを生徒に示してくれる。非行事実について学校で調査しきれない部分（例えば、社会人との交際、等）積極的に調査に調査をお願いしたい。
非行などがあればすぐに連絡してくれることと、相談にのってもらえる事。
行動の抑止。
現在のまま（防犯及び啓蒙）でいいと思う。
事件等になった場合少年犯罪の捜査を敏速にしてほしい。
生徒指導面での強い指導。
緊急時隔離

非行などがあった場合、学校への連絡など連携を密にしていければと思う。

よく機能していますので特に問題ありません。

行為の抑止。

今までどおりでよい。

法的なかかわり。

学校の指導範囲を超える事例が発生した場合の対処。

子どもたちがおかれている社会（家庭・学校を含む）について大人たちや関係機関がもっと実態をリアルにつかみ合う必要があると思う。

問題行動を起こしがちな生徒への継続的な観察。

大変協力的に動いてくれて助かっています。

今は特になし（定期的に連れいしている）

先生の人権も守ってもらいたい。

事情聴取の際、親にも説教をしてほしい。

懲罰の実施をすみやかに行う。

情報が迅速に伝わってくることを。

対応が遅れることがあるので、すぐに連絡を学校にしてほしい。

法に照らして正悪を明らかに生徒に示すこと。

情報連携

非行、事件等があったら、ただちに学校に知らせてほしい。

駐在と夜間連絡が取れるようにしてほしい。

生徒の指導に関する側面支援。

学校・家庭との連携。

非行防止のキャンペーン、講話等。

今後も連携を継続し図っていきたい。

事案について相談をもちかけたときも、適切なアドバイスをいただいている。

情報提供、連絡を密に。

連携（被害届が提出されないと動いてくれないことが多い。できれば学校と連絡をとりながら協同して対応してもらえると効果があがると思います。

情報提供。

毅然とした処置。特に「ぐ犯」の部分では厳しく対処して欲しい。

今年度心配な生徒に対して継続補導をしていただき、将来のことなど話してもらったのがよかった。

問題行動の抑止。

説論

非行に関して歯止めになるような指導（ことがおこってからしか動かないが・・・）学校（教師）をたてるような指導（担任の先生が心配している。なんとか助けて・・・）

犯罪防止の活動、補導。

学校との更に密なる連（係）携

厳しく叱ってほしい。子どもをこわがらせるくらいの強い指導をしてほしい。

速い対応。

問題行動へのすばやい対応。

法津に測った措置。

緊密な連携と対応（現在しっかりできています）。

八尾市は年々連携がとれよい関係である。

非行を含む不法行為に対して、きっちりと対応（罪を与える等）をしてほしい。

期待はない。

生徒にプレッシャーを与える。（力の論理）

校区の巡回。鑑護措置。

現在、大変協力的で学校としては助かっています。

自分のしたことが罪となることをしっかり理解させてほしい。

少年法の改正（14歳という年齢は誕生日で左右される。）

法的な強い指導

安全確保。

事件が起こらないと対処してくれない。未然に防ぐという役割は期待できないとなると被害者が出てからということになる。

学校と連携をしてきれるなら、指導をするために協力がほしい。

被害届けが出た時点での早期の呼び出し調査、指導をお願いしたい。

巡視強化。

連携がとれているので。

迅速な対応。

犯罪行為摘発。

学校の指導を越えた生徒への対応とぐ犯少年への継続指導。

厳しい処罰と保護者への指導。

十分協力してもらっているが、事件が多く起こっている場合遅くなる場合があるので早い対応をお願いしたい。

早期対応。厳しい説諭。

たいへん迅速な対応で、今は非常に満足している。

とにかく非行を止める。

犯罪行為への対応。

立場での子どもへのアプローチ。

社会的責任の自覚。

社会の模範を子どもたちに伝えたい。

少年事件の即対応。学校への協力。非行少年の統制。

犯罪行為及びぐ犯に対する厳しい処置。

卒業生の非行問題に関しての協力。地域の安全について。

学校の現状を十分に理解していただくと同時に教師と連携を密にしてほしい。

子どもの更生

はじめ

各専門部分野で指導する方が説得力がありそれぞれの立場での指導が生徒にも保護者にも効果的である。

パトロールの強化。

逮捕、指導。

非行生徒・保護者への対応。

高槻では警察と中学校の関係は他ではみられない連携が取れている。

教育的な指導。

問題をくりかえす生徒への指導。

社会的なルールを守れない子どもに対しての指導に力を貸してもらいたい。

期待することはない。学校が誠意を持って情報より、考えなりをちゃんと伝えお願いすれば期待以上の連携が得られるようです。

生徒・保護者への強い指導・注意。

きつく叱って絶対同じ過ちを繰り返さない指導。

今後も細やかな連携を進めていきたい。

社会秩序を守る。

社会的な責任を教えていただくことと保護者への指導。

バイクの無免許運転のとりしまり。

もっと素早く動いてほしい。

少年法上の法的抑止力。虞犯及び触法少年に対する厳しい注意を対処。犯罪非行防止。教室の実施

逮捕及び保護者への説諭。

身柄の確保。

即応。

強い指導。

強い指導で、その更生に協力してほしい。

社会的な枠組を示すこと。

罪の重さを知らせる。

問題のあったことについて早期に処置をとってほしい。

青少年犯罪が多い昨今少年係も忙しく、事件の取調べ等に間があく。人員を増やすことが望まれる。

複数回、補導経歴のある者にたいしての処ぐうをはっきりとしてもらいたい。

厳しい指導。

厳罰主義によって非行行為に歯止めをかける。

補導の強化と、学校への連絡。

暴力、バイク等への抑止力。

最終的な生徒、保護者に対するとりで。

現行犯で対応しないと素直に応じないので巡回ではなく保護者呼び出し□□□□補導を徹底してほしい。

・学校と連携した行動一チームサポート体制・迅速な対応・それぞれの役割に応じた対応。

校区の巡回、補導、犯罪の予防、触法少年へのきびしい対応。

犯罪を犯す生徒に対する法律による抑制。

卒業まで個人に関わりを持ってもらう。

きびしさ

犯罪を犯した生徒に対しての教育的配慮。

法律にのっとった刑事責任をとらせる。

逮捕、身柄拘束。

違法行為をした者の逮捕。

即対応。法に基づいた厳しい指導（学校との協力）

特になし。

警察力。中学校は体罰は禁止されているので。

今とめなければ大人になったときどうなるかわからず、厳しい処置をしてほしい。（連けいをとって）

情報交流と問題行動を起した際のすばやい対応。

役割がそれぞれちがうが人員を増やすことである程度きめ細やかな指導ができると思うので、行政のバックアップがほしい。

特に、少年係にお世話になることが多いが法的にバサバサとだけでなく、教育的にも本当によく考えていただいている。

連携したことがまだないためわかりません。

きびしくとりしまってくれるところ。

学校では指導の届かない部分（大人との付き合い）等での問題行動やバイクなど反社会的行為に対しての指導、時には処罰など。

現時点では上記機関にお世話になる様な事柄は発生しておりません。交通安全教育で警察にお話をお願いしたり、補導センターには講演をお願いしたりする程度です。

すべてに早い対応を期待します。（遅い）

よくやってくれています。ありがたいですね。

緊急の場合身柄拘束。

少年犯罪の防止のための啓発活動。犯罪少年の処遇に付いての学校との医師疎通。地域の巡回パトロールの強化。

パトロール等をふくめて、情報交換を密に！

事件続発で対応が遅れがちになっているので、できるだけ早急な指導をお願いしたい。

恐喝被害。

特になし（9件）

無回答77件

②児童相談所に期待すること

家庭環境も含めた対応の相談機関としての役割。

保護者に対する指導、監督。

保護者に対する指導。

専門家の職員を増やしてほしい。

非行少年の心のケア。

生徒の適性等の把握、カウンセリングの充実。

もっと責任をもって取り組んでもらいたい。話を聞くだけなら誰でもできる。どれだけその子にかかわれるかどうか。

生徒の内面における専門的な意見。

14歳未満の生徒・保護者に対しての指導。

人員の増。

心の相談。アドバイス。

専門的な意見やアドバイス。

・我々よりも多くの手法を持っている。

家庭環境が悪く（児童相談所）にも限界がある。

啓発・研修。

処置処遇への迅速な対応。

職員数や施設数を増やして欲しい。

よほどひどい場合にしか声がとどかない、学校の立地場所にもよるが、我々の学校にしては児相が遠い。

生徒理解。関係機関への送付

児相通告を受けた子供への対応がほとんどない。

適切な対応と処置の早さ

カウンセリングを高めてほしい。

通告及び処遇生徒への迅速な対応と関係機関への送致。

ソーシャルワーク的関わりを迅速に行うこと。

継続的な指導。相談員の増員。

定期的な相談活動によるきめこまかな指導。

児相通告の重要性を踏まえた動き。

もっと国家権力で何とかならないものか？学校で指導が入らない背とは関係機関に頼らざるえないがその関係機関も何か起こさないと動いてくれない。

問題の軽重にかかわらず対応願いたい。

相談所の先生も学校に協力的なのでたいへんありがたい。

親子関係の修復。

迅速な対応。

もっともっと家庭裁判所と連携をとって事件として処理してほしい。虐待の対応で大変なのはわかるが他のこともしっかり対応してほしい。指導してほしい。

家庭や他機関への働きかけ。

一時的な保護と専門的なカウンセリング及び検査。

親子のつなぎ。

早期の対応のためにも人員の増加を。

こちらにも責任はあろうが連携を細かく。いろんな日程があわせにくい（お忙しいのだろうが）

13歳以下の生徒の指導と親への対応。

保護者への相談窓口、本人の心理判定、児童自立支援施設への橋わたし。

ここ数年、かなり密接に取り組んでいただいている。（ただ担当者による差は大きい）

1時預りなど早い対応。

・虐待（のおそれも含）や家庭（生活）環境悪時の素早い保護。・学校内では対処しきれない不良行為等の生徒（14歳未満）の1時保護。・それを未然に防ぐために必要な相談。

増員して、もっと動けるようにしてほしい。

本人と家庭へのケア

被虐待、被虐待の疑いのある子どもへの相談・一時保護等。

援助の必要な生徒がいるが、子どもや保護者の援助を受けたいという自主的な気持ちが育つぐらいであれば、援助は必要ないのであって、もっと積極的な動きを求める。

学校からのアプローチ以外に児相職員が学校に出向いてくれることも必要。児相の明確な方向性や業務の教育現場への広報活動。

両親への働きかけ（積極的に）

もう少し、強い姿勢で親にのぞんでほしい。

問題行動をくり返す子供への口し。

受け入れ体制の充実。

児童虐待に対する迅速な対応。

生徒側からの相談があればすぐに学校に連絡、相談してほしい。

家庭へのきりこみ。行政とのつなぎ。虐待への対応。

虐待などの適切な動き。

生徒はもとより、保護者に対してのカウンセリング、アドバイス、あるいは指導。

入所について相談にのってもらえる事。

生徒の心理把握。

現在のまま。

生徒指導面での強い指導。

家庭（保護者）への指導。

対応を早くしてほしい。

メンタルケア（登校までの）

専門的知識が低いように感じる。

子どもより大人の教育をしてほしい。

よく機能していますので特に問題ありません。

本気になって仕事をしてほしい。

中学生の相談、指導にもっと積極的に当たるように期待したい。

積極的な保護。

迅速な対応。

家庭問題に関すること。

保護者とのかかわり、指導。

情緒障害（ADHD等）の専門検査と、指導の援助。

保護能力のない保護者への対応。

子どもたちがおかれている社会（家庭・学校を含む）について大人たちや関係機関がもっと実態をリアルにつかみ合う必要があると思う。

問題行動を起こしがちな生徒への継続的な観察。

先生方とタイアップして協力してほしい。

多忙なのはわかっているので、相談員のさらなる定数増を望む。

人員の増員、施設入所判断の簡易化。

学校との連携を密にしてほしいと思っているが。

情報連携

生徒本人の指導より、保護者に対しての指導助言。

生活リズムの安定。

学校・家庭との連携。

非行生徒の行動が改善できる場所となってほしい。

今後も連携を継続し図っていきたい。

家庭への積極的介入。（現状ではムリかと思いますが・・・）

家庭の協力が得られないケースについて、できるだけ早く対応して欲しい。
色々お世話になっているが、ここも職員の数少なく大変そうだ。
保護者を含めた問題行動への認識の促進と円滑な施設処置。
親権者の意向と、学校が生徒の将来の為に敢えて申し上げることにギャップがある場合に、画一的に無条件に「親権者の意向に従いすればよい」というような判断をすることは避けてほしい。
学校からの家庭訪問と児相からの家庭訪問。
問題のある子や手助けの必要な子どもへの積極的な接触。
学校ではできないような話を聞いてあげてほしい。
速い対応。
処置のすばやさ。
保護者へのサポート。
素早い対応。
相談、お願いしてもなかなか動いてくれない。職員数等、物理的に無理な面もあろうが。
学校、家庭、警察、児童支援施設等の調整をしっかりとって欲しい。
期待はない。
施設入所等。
カウンセリングや心理テスト。(保護者のカウンセリング含む)
現在、大変協力的で学校としては助かっています。
子どもの精神的或は家庭的に不十分なところの支えになって欲しい。
ケースワーカーの増加を希望。
家庭生活の分野を含めての指導。
教師やカウンセラーでは問題が解決しない・・・ような要因を含む場合。
最終決定(処遇)の力が大きいのに、構内暴力や非行虐待で学校が相談をもちかけても対応が遅い。警察のように連絡を入れたら早い対応をしてほしい。
学校では立ち入れられない家庭的な問題について(虐待・ネグレクト等)対応を期待する。
警察、学校からの通告に対し、早期に適切な対応、処置をとっていただきたい。
保護者への対応。
連携がとれているので。係の相談員が多忙である。人員の増を願いたい。
(子ども家庭センター)強制的な生徒保護のための措置。
(特に校外での、恐喝、万引き、喫煙、など)
迅速な対応(しかし相談所も数多くのケースを抱えており限界がある。)
本人、保護者へのきめの細かい指導。
人間(担当者)をふやし即対応できるようにしてほしい。
保護者の承諾がないと動かない(動けない)部分、法の力により動いてほしい。
素早い対応。適格な判断。情に流されない。
とても丁寧な対応で非常に満足している。
家庭問題の軽減化。
子どもに寄りそうことも大切だと思いますが、むしろ自立を阻外している。
親へのカウンセリング。
対応の速さと一定の強制力。
保護者への子育ての援助と助言。
措置についての学校への協力とすばやい動き。
問題行動を起こす生徒の処置も大切だが、警察からの通告で継続指導してもらっている生徒への今後の対応(法)などをもっと連携してほしい。
カウンセリングを必要とする生徒等への心理テストや担任へのアドバイス。
学校が家庭訪問実施しても会えない状況だったので関係機関の力をかりた。
連携
各専門部分野で指導する方が説得力がありそれぞれの立場での指導が生徒にも保護者にも効果的である。

即時対応。

すばやい対応、毅然とした対応。

自立支援施設への送致。保護者の指導。

動きがおそい。

家庭内でトラブルがある生徒への指導。一時保護（迅速な）施設などへの橋渡し。

対親のケアについて援助してもらいたい。

期待することはない。学校が誠意を持って情報より、考えなりをちゃんと伝えお願ひすれば期待以上の連携が得られるようです。

生徒・保護者への長期的指導・相談。

定期的に面談を行い、精神的ケアと分析。

今後も細やかな連携を進めていきたい。

活用しにくい。

保護者や生徒へのカウンセリングや一時保護。

家庭への支援。

リスクカットをする生徒に対する対処の仕方。

人数を増やして相談しやすい（時間的に）環境を整えてほしい。

細やかな対応。早い対応。継続的な対応。

子供本人の内省。

不登校への対応。

虐待の防止。

即応。

強い指導。

親との相談。

保護者への働きかけ。

対応の仕方を教えてもらおう。相談。

どんどん家庭にふみこんでもらいたい。

学校現場の実状を理解してほしい。

担当者によって、対応がちがう。

通告されたものにたいしての処ぐを敏速に実施してもらいたい。

かなり出来ているが、やはり学校との連携。

14歳未満の生徒の補導。

施設への送致。

通告しても家庭に入っていくことはなく、無力感でいっぱいである。忙しすぎることは理解できるが、関係機関の情報をとるのが下手に感じる。

・学校と連携した行動チームサポート体制・迅速な対応・それぞれの役割に応じた対応。

すばやい対応。

CWを増員してもらって相談しやすい体制をとってもらいたい。

虐待（特にネグレクト）に対する素早い対応・人員の増員。

卒業まで個人に関わりを持ってもらおう。

親も含めた愛情ある指導。

すばやい対応における学校との連携。

その子の課題をはっきりさせる。

早急な一時保護の対応。

家庭への支援。（親の放置状況の改善）

施設等の入所（即対応）・・・なかなか入れない現状。

家庭に積極的に関わってほしい。

困難家庭への指導と一歩踏み込んだ対応。

役割がそれぞれちがうが人員を増やすことである程度きめ細やかな指導ができると思うので、行政のバックアップがほしい。

1人何百件の事例をかかえていられるのでついついこちらが遠慮してしまって連絡が遠のいてしまうが忙しい中でも皿だけでもよく対応して下さい。特に`虐待`に関しては対応も早くなった。

連携したことがまだないためわかりません。

子どもの保護。

生活困難生徒の保護

心の面でのケア

現時点では上記機関にお世話になる様な事柄は発生しておりません。交通安全教育で警察にお話をお願いしたり、補導センターには講演をお願いしたりする程度です。

すべてに早い対応を期待します。(遅い)

よくやってくれています。ありがたいですね。

職員の増加をまず求める。一人のワーカーで100人以上を担当している。また、広域の管轄で40の中学校があり、もっと、近隣にあればと思う。同時に、さまざまな生徒をかかえる中学校へ月1回ぐらいのペースで、教員とかのカンファレンスを望む。

学校との連携を密に！家庭支援もふくめて！

カウンセリング。

特になし(8件)

無回答92件

③家庭児童相談室(福祉事務所)に期待するもの

専門家の職員を増やしてほしい。

もっと責任をもって取り組んでもらいたい。話を聞くだけなら誰でもできる。どれだけその子にかかわれるかどうか。

家庭への対応。

よくわからない。

相談についての前向きなはたらきかけ。

相談をするが無力感を感じる。(うわべの対応、なにかが改善した体験を持たない。

学期に一度くらいは学校訪問をしてほしい。

金銭的支援

家庭への支援(学校では限界ありは入れぬことも)

行政関連機関の横断的連絡調整と連携などコーディネート機能。

学校との連携強化。

時々、お世話になります。

迅速な対応。

家庭や他機関への働きかけ。

親の息ぬき。

早期の対応のためにも人員の増加を。担当によって処遇がちがうのは・・・？

こちらにも責任はあろうが連携を細かく。

虐待への対応。

家庭への福祉面での支え。

本校では虐待ケースや家庭的要因の強い生徒に限り、連携をとっているが、もっと担当者の増員を希望する。また、市などの対応マニュアルの確立を市にも要請している。

・家庭(生活)環境悪の生徒の生活保障やそういった保護者(えてして生徒の指導・相談に非協力)への助言指導。

実権がないので何とかしてほしい。

本人と家庭へのケア

子育ての悩みの相談、コーディネーター的役割(各機関の)

積極的な両親への働きかけ

虐待傾向のある家庭への支援。

保護者の生活支援及びサポート。
地域の気になる生徒の家庭への訪問。
生徒はもとより、保護者に対してのカウンセリング、アドバイス、あるいは指導。
家庭に問題がある場合、対応してくれる事。
保護者の養育姿勢の向上。
現在のまま。
生徒指導面での強い指導。
家庭の親（保護者）への考え方の指導。
子どもより大人の教育をしてほしい。
よく機能していますので特に問題ありません。
学校との柔軟な対応。
今までどうりでよい。
積極的な支援（家庭を機能させる）
家庭問題に関する事。
保護者の精神疾患等での崩壊家庭状態の子どもの救済。
子どもたちがおかれている社会（家庭・学校を含む）について大人たちや関係機関がもっと実態をリアルにつかみ合う必要があると思う。
今は特になし（定期的に連れいしている）
先生方とタイアップして協力してほしい。
人員の増員。
家庭的に恵まれない家庭の子どもを対象としていると思うが現状はどうかかわからないので学校に子どもに対する情報を（指導するうえで、必要だと思われる事柄）お願いしたい。

情報連携
保護者の意識の安定。
不登校傾向のある生徒への支援。
今後も連携を継続し図っていきたい。
精神的疾患を本人・親などが持っている場合の措置。
学校との情報交換を密にする。
学校ではできないような話を聞いてあげてほしい。
保護者へのサポート。
期待はない。
親との密接な関係作り、相談。
母子家庭や父子家庭が多い学校なので（22%）連携はかかせません。
現在、大変協力的で学校としては助かっています。
療育に関する指導。特に育てられ方について。
よくわからない。
保護者への対応。
連携がとれているので。
家庭指導（主に保護者に対して）
虐待の疑いがある場合への積極的関与。非行傾向がある家庭への関わり。
不明。
あまり連携がとれていない。
学校への情報提供。
生活の指導。
適切なアドバイス。
養育力不足の保護者に対してのアドバイスや金銭的な援助。
各専門部分野で指導する方が説得力がありそれぞれの立場での指導が生徒にも保護者にも効果的である。
学校との連れい。

家庭、保護者へのアプローチをもっとすべきである。ワーカーの資質を高めてほしい。
保護者の相談にのってもらおう。
ケース会議に入ってもらおう。
期待することはない。学校が誠意を持って情報より、考えなりをちゃんと伝えお願ひすれば期待以上の連携が得られるよう
です。
今後も細やかな連携を進めていきたい。
わかりにくい。
家庭支援。
不登校への対応。
生活保護による財政的援助。
生活面の支援。
親への指導、助言。
対応の仕方を教えてもらおう。相談。
大人への啓発。
学校現場の実状を理解してほしい。
ていねいに対処していただいている。
かなり出来ているが、やはり学校との連携。
家庭内における問題の相談にのってもらいたい。
訪問指導。どうしても学校の教師が情報を関係機関に□□をきいてもらう形が多いので情報をその機関から動いてほしい。
・学校と連携した行動一チームサポート体制・迅速な対応・それぞれの役割に応じた対応。
家庭訪問・カウンセリング。
民生委員さんとの連携をもっととってほしい。
家庭訪問の強化。
卒業まで個人に関わりを持ってもらおう。
経済的な援助。
行政としての手厚い対応。
家庭への支援。
保護者への指導。
役割がそれぞれちがうが人員を増やすことである程度きめ細やかな指導ができると思うので、行政のバックアップがほしい。
連携したことがまだないためわかりません。
家庭への支援、指導。
福祉の方からも話ができる。
心の面でのケア
現時点では上記機関にお世話になる様な事柄は発生しておりません。交通安全教育で警察にお話をお願いしたり、補導センタ
ーには講演をお願いしたりする程度です。
すべてに早い対応を期待します。(遅い)
よくやってくれています。ありがたいですね。
幼児期の子育て支援。
カウンセリング。
特になし(12件)
無回答166件

④少年(補導)センター

情報交換を密にする機関としての役割。
巡回強化。
非行少年に対する指導と地域の教育力の活性化。
あまり期待していない。

情報提供

非行未然防止。

もっと責任をもって取り組んでもらいたい。話を聞くだけなら誰でもできる。どれだけその子にかかわれるかどうか。

情報交換。

学校との連携（全てに）

心のケア。取り締まり。

情報提供。

学校が指導しやすい環境をつくってほしい。

情報をより多くいただきたい。

年1回程度、所長に現状を言ってもらっている。各学校、PTAで指導班を形成している。

連携の核としての動き。

各学校間の情報の共有。

情報交換をできるだけ多く。

子どもたちの様々な理解と温かい対応。

機能を発揮していない。

生徒理解。

卒業生で無職でぶらぶらしている子に、積極的に対応してやってほしい。

長期休みに補導を一緒に行っている。

情報と指導

地域に密着した予防的とりくみ。

非行問題を持つ子どものフローチャートづくりと地域の連携策。

各校の連絡調整、機敏な対応。

卒業生の対応

土・日の様子など、パトロールでずいぶんお世話になっています。

地域との連携

迅速な対応。

無職少年対策。

相談活動（保護者・生徒）

保護者への啓蒙。

パトロールの強化を。

こちらにも責任はあろうが連携を細かく。

卒業後の対応。

本人保護者の面接、職業指導、学校支援。

今も常に連携しているが①人の増員②少年センター指導員さんの権限を広げる。という2点を感じる。

あまり役にたっていない。権限がない。

・無職少年の就職斡旋・・・（助かっています）

学生（小・中・高）と無職少年少女の対応を分けてほしい。

非行防止活動と（パトロール等）無職少年の相談、就職の斡旋等。

学校に訪問されて教師と情報交換されるだけでなく、もっともっと地域の子どものなまの姿に接していただきたい。学校を通してだけでなく、また企画されたお決まりの街頭補導ではなくゲリラ的に、子どもたちが集まる場所へ動いていただくとありがたい。

必要により学校現場に出向いていただくこと。

非行初期段階での補導・指導。

保ゴ者も含めた、家庭や地域での生活等についてのきめ細やかな指導。

センターに現職警察を配置し、より権力を持たせること、学校と保護者、警察との間に入って問題の処理にかかわってもらうこと。

無職少年への対応。

広域的な生活指導の取り組み。
対応の迅速さ。
学校からの相談で連携して動いてほしい。
現在のまま。
生徒指導面での強い指導。
触法行為不良行為の教示。
よく機能していますので特に問題ありません。
今までどうりでよい。
活動があまり見えない。
子どもたちがおかれている社会（家庭・学校を含む）について大人たちや関係機関がもっと実態をリアルにつかみ合う必要があると思う。
今は特になし（定期的に連れいしている）
先生方とタイアップして協力してほしい。
万引き等の学校への連絡がもう少し早ければなおよい。
非行防止の立場で行動することが多いと思うので、ボランティア団体と連携して、見える活動をしてほしい。

情報連携
地域での状況の情報交換。
今後も連携を継続し図っていきたい。
連携を密にしてお互いに情報交換も行っているので特になし。
たまり場などのパトロール。
気になる「たまり場」への巡視の強化。
継続した生活指導。
非行を未然に防ぐこと。
市内の情報を素早く集約し、各学校に流す。各学校はすぐに対応できるシステムが必要。情報を知っておくだけでも重要。
強い指導と話をきいてやること。
指導の継続。
人数が少なくおおくの地域を担当されているので細やかな対応はむずかしい。
抑止力・強制力をもった指導。
学校・保護者が相談しやすい所であって欲しいです。今はとてもよいと思います。（守口補導センター）
緊密な連携と対応（現在しっかりできています）。
校外補導や学校・警察・連絡会で情報交換も定期的にしており、よい関係にある。
予防的な動きと同時に「信賞必処罰」の対応を。
期待はない。
非行グループのカウンセリング、解体。
犯罪の防止や、非行問題で教師・保護者共、利用させてもらっています。
現在、大変協力的で学校としては助かっています。
警察と兇相の両面をもって欲しい。
保護者も含めて、立ちなおりに対する強い指導。
非行防止の啓蒙。
本校の場合、早期に適切な対応をとっていただいた。
生徒への対応。
連携がとれているので。
よくやってもらっている。
カウンセリング（本人と保護者への）、学校へのスーパーバイズ。
情報の公開と強力な指導。機関の名称変更（保護者や子どもに勧める時抵抗あり）
非行防止の観点からの取り組みを中心に、保護者、地域への働きかけ。
協力してもらっている。人事移動が激しく連携しようとしてもとぎれてしまう。場合があつたり、その人によっても考え方が

変る点が学校として少しやりにくい。

相談の窓口。素早い対応。

大阪では「学校応援かけつけ隊」「地区対抗チーム」として学校に入り込んで十分協力してもらっている。

非行防止のカウンセリング。

問題行動生徒へのかかわり。

未然に非行を防ぐ、あるいは事件後の指導。

14歳未満で、自転車盗、バイク盗、万引などを繰り返す生徒の継続補導。

非行少年の更生。

補導活動をふやして欲しい。

校外補導、深夜徘徊の生徒の補導活動や指導。

連絡

各専門部分野で指導する方が説得力がありそれぞれの立場での指導が生徒にも保護者にも効果的である。

・非行防止を目的とした街頭補導の充実。・人員をもっと増やし、子ども一人一人にもっと密接に関われる体制。・大変、学校に協力的で生徒の健全育成に努力してくれている。

生徒の指導。

生徒・保護者へのカウンセリング、相談。

うまく連携できている。

連携を密に。

問題をくりかえす生徒への指導。

指導困難な生徒に対して外部からのアプローチをかけてもらいたい。

期待することはない。学校が誠意を持って情報より、考えなりをちゃんと伝えお願いすれば期待以上の連携が得られるようです。

生徒・保護者への指導、注意。

今後も細やかな連携を進めていきたい。

よくわからない。

生徒の心理分析や学校外での相談相手機関。

保護者への支援

深夜徘徊する生徒に対する補導を。

子供及び保護者への説諭。

街頭での喫煙防止。

即応。

強い指導。

薬物乱用防止教室の開催。

事件にならないような問題でも、学校の指導に協力して助言してもらいたい。

配慮を必要とする生徒へのプレッシャー。

補導された（指導された）子のことを、家庭、学校に全て連絡してほしい。

ていねいに対処していただいている。

警察との連携を密に。

かなり出来ているが、やはり学校との連携。

非行傾向にある子どもに対して更生を願いたい。

補導の強化。各学校の非行防止のコーディネイト。

防犯教室や合同補導での連携。

定期的な個別指導をしていただいています。助かっています。学校に来校し指導してもらいたい。荒れている学校では教師のみでは限界もある。

・学校と連携した行動一チームサポート体制・迅速な対応・それぞれの役割に応じた対応。

問題傾向生徒の防犯と更生。

少年補導・カウンセリングの強化・人員増員。

卒業まで個人に関わりを持ってもらう。

非行の未然防止。

本人の保護と指導。保護者への指導。

街頭補導と犯罪防止教室の実施

非行傾向にある生徒への立ち直り防止支援、連携。

学校の相談にもものってくれ、長期的にその生徒の状況を見守ってくれる。

相談する件数が多いので、対応してもらえるひを増加してほしい。

継続的なカウンセリング、生活指導

役割がそれぞれちがうが人員を増やすことである程度きめ細やかな指導ができると思うので、行政のバックアップがほしい。

警察とはまた違った角度からアプローチしていただいたり、おもしろいアイデアでもってのイベント等までやってもらえるし、学校のことをよく理解していただいて「かけつけ隊」まで設けていただいているので心丈夫である。

連携したことがまだないためわかりません。

保護者や生徒との話をしてくれる。

問題行動を起こす前の段階で相談窓口になってもらいたい。

現時点では上記機関にお世話になる様な事柄は発生しておりません。交通安全教育で警察にお話をお願いしたり、補導センターには講演をお願いしたりする程度です。

すべてに早い対応を期待します。(遅い)

よくやってくれています。ありがたいですね。

所轄署で何度も深夜徘徊や喫煙で補導される少年に対してもっと実態を知り、適宣、家庭訪問指導や呼び出しを含めた補導を求める。また、保護者へのかかわりもあれば、中学校としてもありがたい。

学校(特に私学)に補導生徒の事を知らせないようにする体質を改善するべきである。

校外指導。

特になし(12件)

無回答121件

①警察が連携しにくい理由

地域安全課の職員に学校と連携することに対する意識の差が大きく、こちらが連携を求めてもめんどくさがる人がいる。

事件がおきてからの対応のみ。

家庭への連絡だけで、学校側では何があったのかわからない。

とにかくかかわること。

多忙で、何でもお願いしにくい。

よほどのことがないかぎり連絡がない。しかし、交通安全教室で2日□□。

敷居が高い。

連携しにくいとすれば、担当になる人の仕事への取りくむ姿勢とか認識。

じゃまくさがる。一緒になってよくしてやるといった体制になっていない

教育的配慮に欠けるはた働きかけがあること。

こちらの希望をなかなかききいれてくれない。

何か起こらないと動かないという姿勢。起こってからでは遅いから相談しているのに。

呼び出しや通告の段取りが遅いところ。

以前にあったが、その担当者の姿勢により支障があったことがある。

調書など資料の開示をしぶる。

手つづきが大変お役所的。

・昨今の事情により、事件等が素早く対応してもらえず、後まわしにされ「熱のさめきってから」の動きでは「今」に反影されない事が増えてきた。

事案が多いためか、後手になりやすい。

多忙。機関内部でも、情報が全体に共有されていないことがあったり、考えがちがう場合もみられた。

学校の生徒指導対応が大変多く校内での生徒指導の強化対策としてスタッフの充実や組織の強化や充実ができていくのでその点を強化とすれば①～④との対応も成果があると思う。

警察は学校が弱こじだと言われる。複雑で困難な問題は、なかなか理解してもらえない。

生活安全課、刑事課など課ごとに動きがちがい、連携されていないので、学校との連携のむずかしさがある。

警察独自に、中学校の生徒に取り調べをすることがある。

事件としてのみとらえる事が多い。

いそがしいと思うから。

どれも学校と距離があり実質、内状を知るに時間がかかるしすぐに動けないと思う。

何か事件がないと連携しにくい。

駐在所などの場合はなかなかアポイントメントがとれない。※外出中であることが多い。

富田林では連携はうまくいっていると思う。

自分たちがつかんだ情報は生徒のことであっても私たちが聞かない限り何も教えてくれない。

いそがしくしておられる。事件として立件できない時。

担当者による。

連携はかかせません。

警察と補導センターと適時連絡をとり合っているので、連携しにくい理由など特になし。

学校での生徒の様子、現状を理解していただきたい。

全ての機関が、それぞれにうけもっているケースが多すぎて、ケース会議を含めて時間がとれない。当然のことながら対応が遅れる。色々原因はあると思うが、最も大きい理由は人員不足に尽きると思う。

連携できている。

十分協力してもらっているが、事件が多く起こっている場合遅くなる場合があるので早い対応をお願いしたい。

情報の共有化に関しては連携しにくい。

それぞれのかかえるケース、仕事量が多いこと。

事実への厳しさ。

人員不足

教育委員会が場を作る学習会。

担当者によって対応が異なる。

校内での喫煙程度では警察に処ぐうをお願いできない。校内の指導の限界を感じる。

子どもの状況（家庭状況、学校での状況など）を理解せず、単に法規に照らし合わせて逮捕口を行う。

全てにおいてその担当課の方によることが多い。話すら聞いてもらえないこともあり苦労した。

・時間的、人的に迅速対応がとりにくい。・個別に対応してくれているが、学校の思いと重ならない（ズレル）ところがある。

軽微事件ではすぐに動いてくれない。

学校の立場がなかなか理解してもらえない。

対応を早くしてくれる警察と1年たっても対応してくれない警察があり困っている。

連携したことがないためわかりません。

会議、連絡会等でよく、合っていますしいつでも連携可能です。

あまり効果が見られない。

②児童相談所が連携しにくい理由

人手が不足しているようでたいへん忙しそうである。また、保護能力に著しく欠ける保護者に対し、強く指導する権限が弱いのではないかと感じる。

積極的に動いてくれる人が少なく、コンタクトがとりにくい。

とにかくかかわること。

多忙で、何でもお願いしにくい。

・いそがしいからか時間がかかる。

親身に対応してほしい。

連携しにくいとすれば、担当になる人の仕事への取りくむ姿勢とか認識。
指導者が忙しいそう。
遠すぎて連携の対象にならない。
対応が期待できない。
担当の方が1名で忙しく連絡がとれない。
対応のスピードと日常的な連携不足。
人員が少なすぎる。
学校と連携して兎相でも指導してほしい。話をきいているだけで終わっている。
あまりとりあってもらえない。
虐待で満杯と言われ、不登校など扱ってもらえない。
かかえている事例が多く、動きが遅いところもある。
以前にあったが、その担当者の姿勢により支障があったことがある。
対応がおそい。
常に連絡が取りにくい。
・欧法的な部分（保護者の意志尊重等）にしばられすぎて素早い対応を願っても動けない。☆大阪岸和田の事件以降は素早かったが・・・。
一時保護の空きがなく、タイムリーに対応してもらえない。
多忙。強制力がないので、子どもや親の自主性を尊重される。そのため対応が後手にまわる。
学校の生徒指導対応が大変多く校内での生徒指導の強化対策としてスタッフの充実や組織の強化や充実ができていくのでその点を強化とすれば①～④との対応も成果があると思う。
兎相のスタンスは長く長期的で学校のおしこまれた状況の緊ばく感とはギャップがある。
職員数が不足しているのか、細かい連携がとりにくい。
守秘義務等からなかなか相談内容について学校に連絡してもらえない。
連携はしているものの実際必要な時の動きが悪い。
状況が十分に何らかの条件にあわないと対応を拒否あるいは別の機関にまわされる。
担当（窓口）になってももらえないケースが多い。
時間がかかりすぎる。
距離的に、感覚的に遠い存在である。
どれも学校と距離があり実質、内状を知るに時間がかかるしすぐに動けないと思う。
多忙で連絡がとりにくいこともある。
虐待には精力的に動くが、問題行動には消極的である。
遠距離にある。
相談をかけても担当者が多くのケースをかかえすぎていてこまめな対応がむずかしい。
富田林では連携はうまくいっていると思う。
親権者の意向を重視し、ガッコはオブザーバー的に見ておられるような気がする。
いそがしそうです。児童福祉司の数が少ないのでは。
親がかまわなくてくれといえは何もしない（できないらしい）から。
1人に担当者が多くの件をかかえておられる。
担当の人が忙しすぎる様子が伺える。また、担当の人によって対応に大きな差があり、心理技官によっては担当が転勤などで変わる際、半年かかって積み上げたものをなしにして最初からという説明にはおどろいた。
担当者による。
連携はかかせません。
一人の係官が100人程担当するので、関わりが薄くなりやすい。
相談員の方が余りにも多くの件数を抱えられている。相談員の増員が必要。
全ての機関が、それぞれにうけもっているケースが多すぎて、ケース会議を含めて時間がとれない。当然のことながら対応が遅れる。色々原因はあると思うが、最も大きい理由は人員不足に尽きると思う。
連携できている。
抱えているケースが多いので、更に相談を持ち込むことに抵抗あり。

保護者の承諾がないと動かない（動けない）部分、法の力により動いてほしい。
それぞれのかかえるケース、仕事量が多いこと。
場所が遠い。職員が少ない。
子どものご機嫌をとるようなことだけでなかなか改善してこない点。
担当する相談員の数少なすぎる。
市に1つは欲しい。
人員不足
諸検査に手まどったり、担当者の変更などにより対応がおそく指導時期をのがしてしまう。
教育委員会が場を作る学習会。
忙しくて時間をとってもらえない。
なかなか即時に対応してもらえないこと。
相談件数が多すぎて手がまわらない。
担当者が忙しすぎる。
対象生徒・施設への入所待機生徒数が多く対応しきれないのが事実。職員を増やすことが大切。
施設の収容定員枠が優先され、必要な時に対応してもらえない。
機動力が乏しい。
身近なところに設置されていない。
全てにおいてその担当課の方によることが多い。話すら聞いてもらえないこともあり苦労した。
・時間的、人的に迅速対応がとりにくい。・個別に対応してくれているが、学校の思いと重ならない（ズレル）ところがある。
実態が伝わりにくい。
CWの人数が少なく相談しづらい。
多数の事案をかかえながらの対応であるので対応がおそくなる。
深刻な事例でないと対応しないため、相談するときにとめらう。
機能しないことが多い。
保護者が相談にいかないと対応してくれない。
連携したことがないためわかりません。
会議、連絡会等でよく、合っていますいつでも連携可能です。

③家庭児童相談室（福祉事務所）が連携しにくい理由

とにかくかかわること。
内容や領域がよくわからない。
連携しにくいとすれば、担当になる人の仕事への取りくむ姿勢とか認識。
乳、幼、児までが限界で中学校では対応できる人材がいない
担当が明確にならず連絡がとれない。対応がどのようになるのか不明確。
形式的な連携や対応。
どういう仕事内容か見えてこない。
日頃かかわりがない。
人員不足及び対応が非常に遅い。
今年大きく前進したが、今までは、本市の場合、学校からわかりにくい面があった。
事例が多いためか、中学校から相談をかけても動いてくれないことが多い。
学校の生徒指導対応が大変多く校内での生徒指導の強化対策としてスタッフの充実や組織の強化や充実ができにくいのでその点を強化とすれば①～④との対応も成果があると思う。
あまり深くまでかかわれない。
ケースワーカー等との。
形式的なものを感じてしまう。
制度的なことはよくやるが人的なことをやる人間がいない。
担当（窓口）になってももらえないケースが多い。